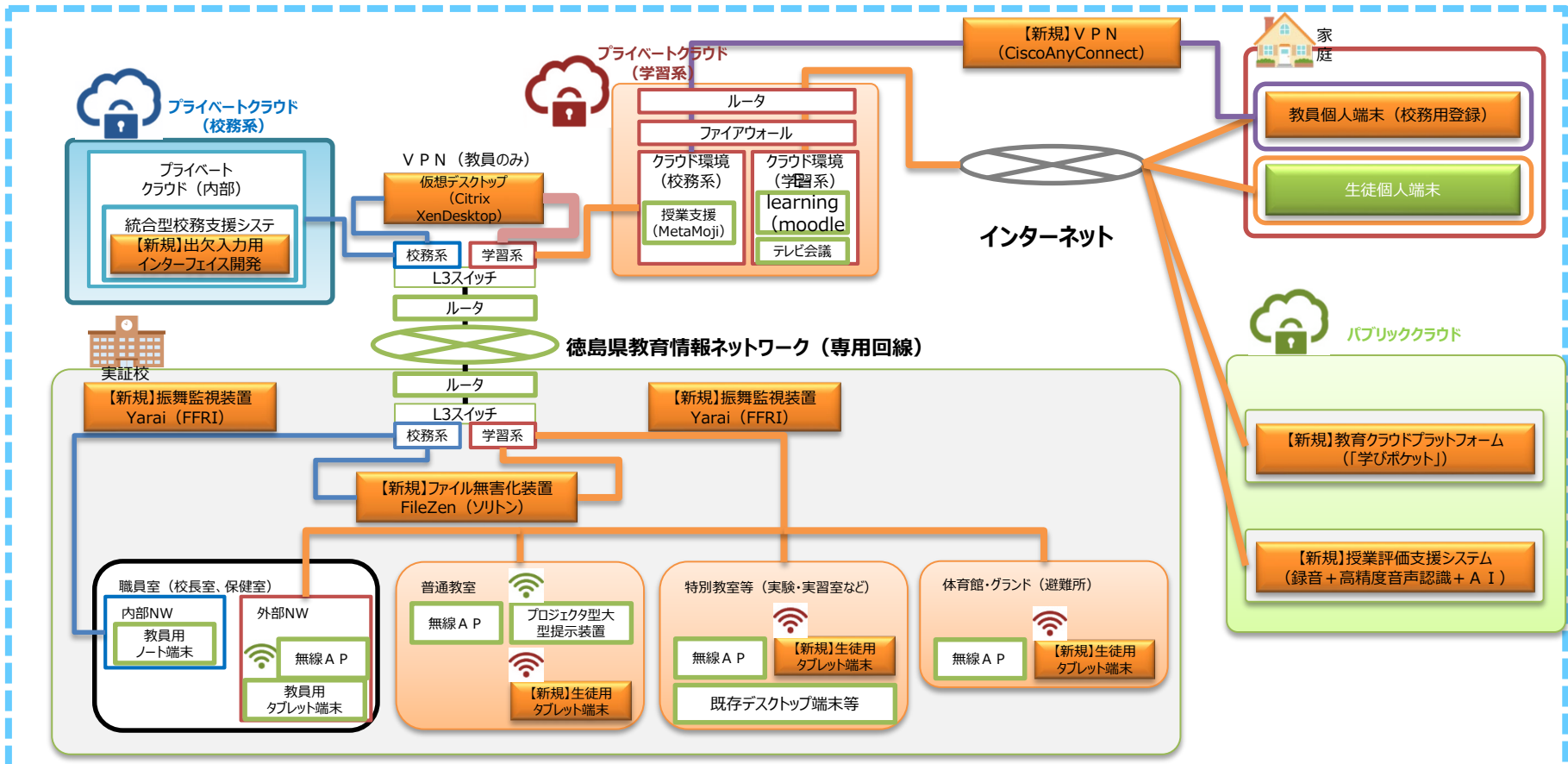


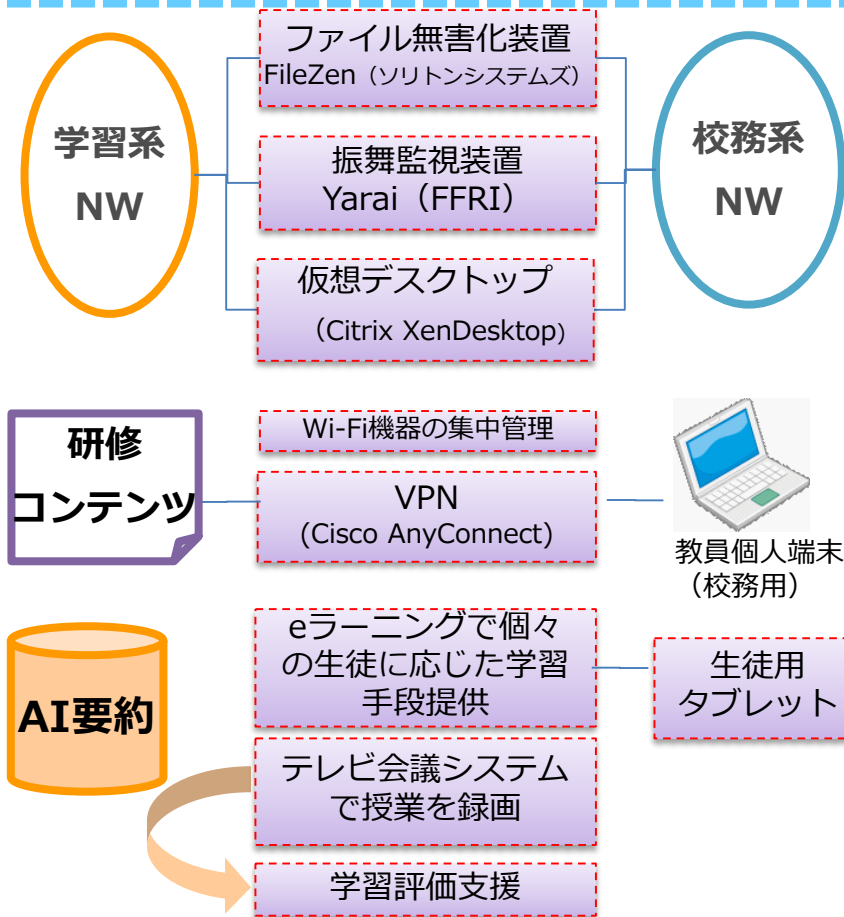
地域実証の概要

スマートスクール・プラットフォーム実証事業
(次世代学校ICT環境の整備に向けた実証)

実証地域	徳島県	実証期間	平成29年度～令和元年度
実証校名	徳島県立城北高等学校、徳島県立城ノ内高等学校、徳島県立徳島北高等学校、徳島県立つるぎ高等学校、徳島県立池田高等学校定時制		
実証概要	情報セキュリティを確保した中での、校務系・学習系のデータ連携による学習内容の深化、また、学習記録データを利用した個に応じた指導の充実、学校と家庭とをシームレスに接続した学習の展開について実証する。		



実証項目概要及び期待される効果と最終目標



NW円滑化モデル実証項目

- 現状USBで実施している学習系NWと校務系NW間のデータ授受の円滑化による処理時間の短縮(データ授受時のセキュリティ確保のために振舞監視装置を導入し、セキュリティを担保)
- 普通教室で出欠席データを教員用タブレット(学習系NW)から入力できるようにシンクライアントを導入し、処理時間短縮

コスト削減モデル実証項目

- 各学校管理の保守・運用から可視化ツールを導入し、教育センター一括監視による各校の管理負担、処理時間短縮
- 教員の研修をeLearning化による旅費、移動時間の軽減

先端技術 (EdTech) 活用モデル実証項目

- 教育データの記録・分析による生徒の学習評価支援
- 新学習指導要領等に沿った新しい教育手法Eラーニングを利用した個々の生徒に応じた学習手段の提供

期待効果	最終目標 (令和2年3月末)	平成28年度 (事業開始前)	平成30年度末 (事業開始後)
【データ受渡に要する作業時間】 教職員の校務負担軽減	4000時間/年削減	8000時間/年	4000時間/年削減
【出席簿に記入しシステムに入力する時間】 校務支援システム等の円滑活用	12,000時間/年削減	24,000時間/年	12,000時間/年削減
【ネットワーク機器設定時間】 Wi-Fi機器一元管理により教職員対応時間削減	200時間/年削減	400時間/年	200時間/年削減
【教職員研修旅費】 e-Learningに変更した研修に要する旅費等削減	384,000円/年削減	1,440,000円/年	120,000円/年削減
【教員の生徒評価に要する時間短縮】	240時間/年削減	1,488時間/年	240時間/年削減